

札幌市円山動物園基本方針ビジョン 2050 第 1 次実施計画の進捗状況(令和2年度)

1 札幌市円山動物園基本方針ビジョン 2050 第 1 次実施計画

当園の基本方針「ビジョン 2050」の基本理念である「命をつなぎ 未来を想い 心を育む動物園」を実現するため、円山動物園の具体的な事業・取組をまとめたもの(計画期間:2019.4.1～2024.3.31)

2 主な事業の進捗状況

重点項目	数値目標		進捗状況	
	指標	2018→2023	2019	2020
保全	「飼育展示していく動物種の考え方」に基づく推進種や希少種の繁殖種数(累計)	10 種	7 種 (ユキヒョウ、オオワシ、フンボルトペンギンを追加)	8 種 オランウータン、スダスローロリス、ミヤコカナヘビ、カンムリシロムク、ユキヒョウ、オオワシ、フンボルトペンギン、 <u>スペングラーヤマガメ</u>
	生息域内保全活動の実施回数(単年度平均)	11 回→20 回	26 回	48 回 ・コウモリ調査(24 回) ・外来植物駆除活動(17 回) ・道内での野生動物調査(3 回) ・シンポ及び展示会(2 回) (海鳥展、は虫類密輸シンポジウム) ・ニホンザリガニ調査(2 回)
教育	園内における解説やガイド実施数	1,277 回/年 →1,350 回/年	1,017 回/年	329 回/年
	総合学習等の受入れ人数	8,968 人/年 →10,000 人/年	11,435 人/年	2,883 人/年
調査・研究	学会等で調査・研究内容を発表した回数(単年度平均)	3 回→5 回	14 回	2 回 ・希少野生動物の生息域外保全に関する連絡会議でのミヤコカナヘビに関する報告 ・宮古諸島の希少種保全・外来種問題に係る複数の事業関係者による連絡会議
	調査・研究内容の情報発信	0 回/年 →5 回/年	3 回/年	3 回/年 ・ミュージアムマネジメント研修会での報告 ・海鳥展講演会での報告 ・は虫類の密輸に関するシンポ

重点項目	数値目標			進捗状況
	指標	2018→2023	2019	2020
リ・クリエーション	冬季来園者数(11~3月)	254,505 人 →300,000 人	154,153 人 ※3月休園	130,177 人
	来園者の満足度	毎年向上 ※2018 年度 未実施	98%	98%
動物福祉	ハズバンドガリートレーニング実施種(累計)	19 種→35 種	20 種	22 種 レッサーパンダ、エゾリス、マレーグマ、カワウソ、シマウマ、ゾウ、ユキヒョウ、アムールトラ、キリン、カバ、クロザル、アライグマ、ミニホース、ヒマラヤグマ、アザラシ、ホッキョクグマ、ヒグマ、オランウータン、シンリンオオカミ、アカハナグマ、 <u>チンパンジー</u> 、 <u>ダイアナモンキー</u>
	動物福祉評価	実施完了 ※2018 年度 未実施	未実施	条例制定後の実施にむけて準備中

※下線は、2020 年度追加されたもの

3 来園者数の推移

(単位：人)

